

# 谷が 市長の深い話



深谷市長 小島 進

## 公共施設の在り方

今、日本全国の自治体で公共施設の在り方が問題となっており、それは、高度経済成長期を中心としてさまざまな住民ニーズに対応するために建築した公共施設が、老朽化による建て替えや改修などの時期を迎えているからです。

深谷にも200を超える公共施設があり、その合計延床面積は約37・3万㎡のほりです。これらの約4割が建築後30年以上経過し、建て替えや改修などの時期を迎えていることは、広報ふかやの9月号にお知らせいたしました。高度経済成長期のように、税収が増え続け、人口も右肩上がり

増加を続けていた時代であれば、すべての公共施設を建て替えるという選択ができたでしょう。しかしながら、現在は人口減少・超高齢社会のため、すべての公共施設を維持することは厳しい状況です。統廃合や複合化により公共施設のスリム化を図るなど、何らかの対策を講じていかなければなりません。

このような状況を踏まえて、市では、問題の解決に向けて『深谷市公共施設適正配置基本方針』を昨年の11月に策定しました。

また、この問題は行政のみで解決するのではなく、市民のみならず共に考えるべきであると判断し、『深谷市公共施設在り方検討市民会議』を発足しました。

さらに、広報ふかやの9月号から『考えよう公共施設のこと』と題して掲載を始めました。

このように、今後の公共施設の在り方について考える場が動き出しています。少し時間をかけても、皆さんと一緒に考えて行きたいと思えます。

## TOPICS 肺炎球菌ワクチン予防接種費用の助成をします

後期高齢者医療の被保険者のみが、肺炎球菌ワクチンの予防接種を受けた場合に、その費用の一部を助成します。

**対象** 次の要件を全て満たすかた  
 ①市内在住で後期高齢者医療の被保険者（接種口現在）  
 ②後期高齢者医療保険料の未納がない  
 ③過去5年以内にワクチン接種を受けていない

**助成額** 4,000円  
**助成回数** 生涯1回  
**助成受け付け開始** 11月1日（金）から問い合わせ先へ  
 ※10月31日（水）以前の接種費用は、助成対象外となります。  
 助成方法および実施医療機関など詳細は、広報ふかや11月号でお知らせします。

**問い合わせ** 保険年金課（☎574-4-6641）

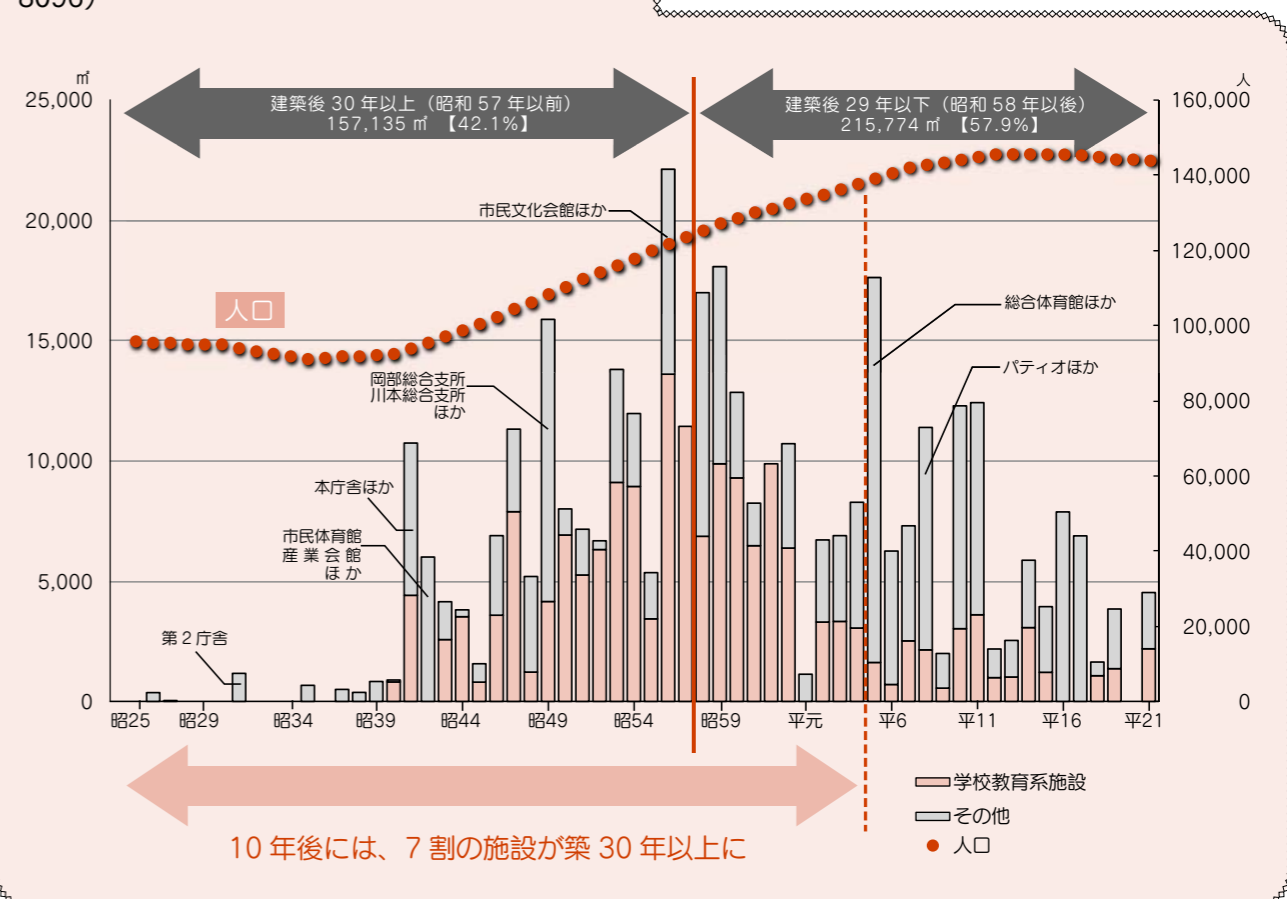
## シリーズ 考えよう 公共施設のこと ②

これからの公共施設の在り方を検討するためには、まずは、全体像を把握することが重要となります。市の施設は、いつごろ、どれくらい建てられてきたのでしょうか？

下のグラフは、市が保有する公共施設の延床面積を建築年別に表したものです。

人口増加が急速に進んだ昭和40～60年代にかけ、学校教育系施設を中心として建設されたものが多くを占めています（全体の約半分）。経過年数については、前回でお伝えした通り、約4割の施設が建築後30年以上経過しており、さらに10年後には、その割合は7割にもなることから、今後は、これらの施設の多くが大規模改修や建て替えの時期を立て続けに迎えることが見込まれます。

**問い合わせ** 企画課（☎574-8096）



## ありがとうの手紙



優秀賞 一般の部  
空手道部部长 島田くんへ

深谷第一高校3年（現大学1年）本間 涼介さん  
 一年間空手道部部长おつかれさま。オレらの代は、わがままな奴らが多くて大変だったと思う。いつも迷惑かけてごめんな。オレが悪いのにお前は代わりに先生に怒られて、本当に辛かったと思う。でも、オレはお前が部長でよかった。お前だからついてくれた、一緒にやってこれた。お前がみんなをまとめてくれたから、団体戦で県大会ベスト8をとれたとオレは思ってる。本当に感謝してる。ありがとう。いつかもう一度みんなと空手やろうな。

## みんなの声 BOX

Q 「ふっちゃん子ども福祉基金」は、どのように活用されているのですか？

A 子どもたちの健やかな成長のための事業に活用しています。

皆さんからお寄せいただいた寄付金は、軽度・中等度難聴児のための補聴器購入など、現行制度では救済できない子どもたちを支援する事業に活用しています。現在、新たな事業での活用も検討しています。

また、市役所本庁舎や公民館などに募金箱を設置しておりますので、皆様からの温かなご支援をお願いします。

**問い合わせ** こども青少年課（☎574-6646）